

平成31年度（令和元年度）全国学力・学習状況調査 教科に関する調査結果及び考察について

保護者の皆様へ

白河市立白河第三小学校長

平成31年4月18日に実施しました「全国学力・学習状況調査」の教科に関する調査結果及び考察についてお知らせいたします。

この調査は、学校における児童への教育指導や学習状況の改善等に役立てることなどを目的としています。

調査対象は6年生で、国語と算数の2教科を実施しました。

昨年度までは、「国語A」、「算数A」（主に知識に関する問題）と「国語B」、「算数B」（主に活用に関する問題）に分けて実施してきましたが、今年度より、それらが1つにまとまった調査を実施しました。

本校では、教科に関する調査結果とその考察、並びに指導方法を改善する取組をお知らせし、学校と保護者や地域の方々がともに手を携えて、児童の学力向上や学習環境などの改善に取り組んで参りたいと考えておりますので、御理解と御協力をお願いします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の一部であること、また、学校における教育活動の一側面の結果であることを御理解ください。

【本校と全国の平均正答率比較】

教科	全国平均 正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
国語	63.8%	○				
算数	66.6%	○				

【国語：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
話すこと・聞くこと	72.3%	○				
書くこと	54.5%		○			
読むこと	81.7%	○				
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	53.5%	○				

【考察】

- 「たいしょう」「かんしん」など、同音異義語の漢字の正答率が低かったことから、学習した漢字を文の中で正しく使うことに課題があります。ノートや作文指導の際、意識的に指導を行っていきます。また、本校では「漢字コンクール」を年3回実施し、子ども達も意欲的に取り組んでいます。「漢字コンクール」での問題設定に今回の結果を反映させ、事前・事後指導での意識化を図ることで、課題解決への手立てとしていきます。
- 「目的に応じながら」文章を読んで内容を把握したり、質問したりする問題の正答率が低かったことから、ねらいを意識して学習活動に取り組むことに課題があります。「何のために」文章を読むのか、「何を伝えるための」意見文を書くのかなど、活動のねらいを意識して授業改善を行うとともに、読むこと、書くこと、話すことの基本的な技術が定着できるよう、授業の中にそれぞれの活動をバランスよく位置付けていきます。

【算数：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
数と計算	63.2%	○				
量と測定	52.9%	○				
図形	76.7%	○				
数量関係	68.3%	○				

【考察】

- 示された図形の面積の求め方を言葉や数を用いて説明したり、引き算に当てはまる性質を基に除法に成り立つ性質を考え説明したりする問題の正答率が低かったことから、基礎的な技能や考え方を様々な場面に当てはめて考え、応用力を高めることができるよう、授業を改善するとともに、モジュールの時間を使ったり、家庭学習の内容を工夫したりして定着を図ります。
- 示された計算の方法を解釈し、その考えを別の問題に当てはめて説明する問題の正答率が低かったことから、授業の話し合い活動で、友達の考えを説明したり、自分の考えた方法以外で問題を解決したりできるように授業改善を図ります。

**平成31年度（令和元年度）全国学力・学習状況調査
質問紙調査結果及び考察について**

保護者の皆様へ

白河市立白河第三小学校長

「全国学力・学習状況調査」では、学習や生活の状況について質問紙による調査も実施しましたので、その結果及び考察の一部をお知らせいたします。

特に、児童の家庭学習の取組や読書の様子など家庭生活に関する調査結果を公表し、学校と家庭・地域の協力体制を強化していくことを目的としています。

この結果を、是非、御家庭でも子どもさんと一緒に話し合っ、て、家庭生活の見直しに役立ててくださるようお願いします。

1 家で自分で計画を立てて勉強をしていますか。

		している	どちらかといえ ばしている	あまり していない	全く していない
小 6	全 国	33.1	38.4	23.0	5.5
	白三小	31.6	34.7	28.6	5.1

(単位 %)

【考 察】

- 全国平均と比較すると、「あまりしていない」の割合が高いことから、特に自主学習を生かしながら、子ども一人一人の課題解決につながる家庭学習となるよう、単元テストや漢字・計算コンクールなどに向けての目標をもたせ、内容や量を設定します。
- 自分で考え、計画し、実践していくことが、自立につながるものと考え、今後も指導していきます。4月に配付した「家庭学習の手引き」を基に、ご家庭とも連携しながら取り組んでまいります。

2 授業時間以外に、普段（月～金）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。

		3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	全くしない
小 6	全 国	12.4	16.9	36.8	24.1	7.6	2.3
	白三小	4.1	14.3	44.9	27.6	8.2	1.0

(単位 %)

【考 察】

- 学校の目標である「学年×10～15分」に達していない、勉強時間が1時間未満の児童が約37%いることから、実態に応じて内容を調整したり、自主学習の例を紹介して、学習のやり方を広く共有できるように働きかけたりすることで、自己マネジメント力を高め、主体的に学習に取り組めるよう努めます。
- 今後も、本校の「家庭学習の手引き」を基に、「目をかけて」「声をかけて」「手をかけて」「心をかけて」を合い言葉に、保護者の皆様と共に子ども達を育ててい

きます。

3 授業時間以外に、普段（月～金）、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか。

		2時間以上	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	10分以上 30分未満	10分未満	全くしない
小	全国	7.0	11.3	21.5	25.9	15.6	18.7
6	白三小	7.1	9.2	20.4	30.6	13.3	19.4

(単位 %)

【考察】

- 昨年度と比較すると、1時間以上読書する子どもの割合が高くなりました。本校では、年間で、低学年75冊・中学年50冊・高学年30冊を目指して読書活動に取り組んでいます。今後も、読書に親しむことのよさを感じることができるよう努めていきます。
- 学校司書と連携し、各教科の学習と関連のある本を紹介したり、読書を通じて友達と交流できる機会を設けたりしています。借りたい本が図書室にない場合には、市立図書館から借りることができるようにして興味・関心を高めています。今後も、子どもたちが読書に親しむことができる環境を整えていきます。

4 先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか。

		当てはまる	どちらかといえば 当てはまる	どちらかといえば 当てはまらない	全く 当てはまらない
小	全国	43.1	43.0	10.7	3.0
6	白三小	57.1	36.7	4.1	2.0

(単位 %)

【考察】

- 「当てはまる」と回答した割合が高く、「どちらかといえば当てはまる」と回答した割合を合わせると、9割以上の子どもが教師に認められていると感じていることがわかります。自己肯定感、学習意欲の向上にもつながります。子どものよさを認め、さらに伸ばしていき、様々な学習活動への意欲につなげていきます。
- 本校では、「Q-Uテスト」を活用したよりよい学級づくりや、「ハッピータイム」での子どもたちのよりよい関係づくりに取り組んでいます。今後も学級の状況や子どもとの関わりについて研修を深めることで、教師の子どもへの関わり方の技能が向上するように努めていきます。